

# 平成 29 年度 事業報告

特別養護老人ホーム	せとうち
小規模多機能ホーム	せとうち
居宅介護支援事業所	せとうち

## 1. 入居者の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

### (1) 長期入居

#### ① 入居者数

区 分	男	女	合計		
入居者数	16 人	64 人	80 人	最高齢	101 歳
入所	8 人	9 人	17 人	最年少	42 歳
退所	9 人	8 人	17 人	平均年齢	87.6 歳

#### ② 入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	1	0	1
60～69 歳	0	2	2
70～79 歳	2	4	6
80～89 歳	9	18	27
90～99 歳	4	39	43
100 歳～	0	1	1
計	16	64	80

#### ③入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要介護 1	0	1	1
要介護 2	0	4	4
要介護 3	3	12	15
要介護 4	7	17	24
要介護 5	6	30	36
計	16	64	80
平均介護度	4.2		

### (2) 短期入居

#### ① 利用状況 \*H29.4～H30.3 末までの総数

男	41	最高齢	100 歳	実施日数	365 日
女	56	最年少	56 歳	利用延人数	7304 人
計	97	平均	86.4 歳	一日当たり利用者数	20.0 人

#### ② 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	1	1
60～69 歳	4	2	6
70～79 歳	7	6	13
80～89 歳	15	22	37
90～99 歳	15	22	37
100 歳～	0	3	3
計	41	56	97

※詳細は 10 ページ参照

(3) 小規模多機能ホーム

① 利用状況 \*平成 29 年 4 月～3 月末までの総数

男	8	最高齢	97 歳	利用延人数 (泊まり)	1,293 人
女	24	最年少	67 歳	利用延人数 (通い)	5,260 人
計	32	平均	87.2 歳	利用延人数 (訪問)	7,353 人

② 利用者の年齢構成 (人)

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	0	0
60～69 歳	1	1	2
70～79 歳	3	3	6
80～89 歳	3	13	16
90～99 歳	1	7	8
100 歳～	0	0	0
計	8	24	32

(4) 居宅介護支援

① 利用状況 \*平成 29 年 4 月～3 月末までの総数

男	23	最高齢	100 歳
女	33	最年少	68 歳
計	56	平均	84.8 歳

② 利用者の年齢構成 (人)

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	0	0
60～69 歳	2	0	2
70～79 歳	7	7	14
80～89 歳	8	14	22
90～99 歳	6	11	17
100 歳～	0	1	1
計	23	33	56

## 2. 援助実施の状況

### (1) 生活援助

#### ① 食事の提供と援助

個別に入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供できるよう努めた。季節感のある食事を提供する為、毎月1日は赤飯の日とし、月1~2回はお寿司の日を設け、その他にも年2回の昼食バイキングとデザートバイキングや季節行事食、各フロアでの食事・おやつレク、レストランなどへの外出レクを取り入れている。低栄養状態の改善に努めることで生活意欲の向上を図り、また栄養士、看護師を中心として体重の減少や極端な増加を予防することで健康の維持に努めた。誤嚥防止に努め、一人ひとりのペースに合った食事の摂り方に取り組んできた。

#### ② 口腔ケア

歯科医師の助言・指導の下、日々の口腔ケアを徹底し、口腔機能の維持に努めた。

#### ③ 経口維持

経口による継続的な食事の摂取を支援していく目的で、医師、看護師、介護職員、管理栄養士、ケアマネジャーなどが共同して、食事の観察及び会議等を行い、経口維持計画を作成している。

#### ④ 入浴援助

ご本人の身体状況に合わせ、個浴、機械浴の中からより安全な入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付添を行い、最低週2回入浴を実施した。体調の悪い時は、清拭・陰部洗浄などで清潔保持に努めた。

#### ⑤ 排泄援助

個々の入居者の排泄リズムを把握し、可能な限りトイレでの排尿・排便を行うとともに、オシメを外し、布パンツの使用へ変更することにも取り組んだ。介助の際には、羞恥心・プライバシーに配慮し、清潔保持や不快感の軽減に努めた。

#### ⑥ 外出援助

行事外出の他にも、誕生日、買い物、ドライブなど個別外出にも力を入れ、外出の機会を増やすよう努めた。ご自宅でご家族との時間を過ごしていただけるよう、ご家族の協力の元、自宅への外出支援にも力を入れた。安全に配慮し、事故なく外出できた。

### (2) 健康管理

入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化、又は異常が認められた場合には、嘱託医の診察や、状況報告を行い適切な対応を行った。

#### ①入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理及び往診、通院の調整を図った。秋にはインフルエンザの予防接種を実施し、希望に応じて肺炎球菌ワクチンの接種も行った。

#### ②嘱託医師による定期的な診察

週2回(水・金) 藤田病院 山田 Dr 往診

随時 中里歯科医院 往診

③健康診断（藤田病院）

④協力病院との提携（入居者の通院及び入院）

⑤感染予防対策

環境衛生及び消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、居室、フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。

⑥職員の衛生管理

職員個々の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者以外の職員については年1回、夜勤者に対しては年2回の健康診断と腰痛検査を実施した。

⑦日常生活動作の維持

作業療法士・理学療法士の指導の下、レクや日々の生活の中で体を動かしていただく機会を作り、機能の維持に努めた。

### (3) 感染症対策

入居者・職員ともに手洗い・うがい・消毒・換気を励行し、集団生活下での感染症予防に努めた。職員に対しては、出勤時に体温計測と健康チェック表の記入を義務付け、健康状態の把握を行った。H30.1月～H30.4月にインフルエンザの発症者が発生した（利用者13名（内ショートステイ3名）、職員13名）。そのため、面会者に手洗い・うがいの実施、マスク着用をお願いした。この他、H29.8.25～29、利用者4名（内ショートステイ2名）に疥癬が発生した。

### (4) 生活環境の整備

各フロアの共同生活室や廊下へ季節ごとの飾りつけを行ったり、観葉植物や花、小動物を設置するなどし、家庭的で明るい雰囲気作りに努めた。

## 3. 行事・ボランティア等について

### (1) 行事・ボランティア等

実施日	行事内容	場所
4/24	駄菓子の日	各フロアを屋台で巡回
5/14	母の日	各フロア
5/24,26	バイキング	新館地域交流ホール
5/27	せとうち大掃除	せとうち全体
5/30	めぐみ保育園芋苗植え	せとうち畑
6/6	今城幼稚園芋苗植え	せとうち畑
6/9	ちとせ保育園芋苗植え	せとうち畑
6/18	運動会	新館地域交流ホール
〃	父の日	各フロア
7/4	食事の日（かき氷）	本館地域交流ホール

7/13	備中神楽	新館地域交流ホール
7/29	ゴスペル（赤磐クワイヤグレイス）	新館地域交流ホール
8/26	せとうち夏祭り	せとうち敷地内
8/31	太極拳と歌（tones、WAT）	新館地域交流ホール
9/7	臨床美術	新館地域交流ホール
9/18	敬老会	新館地域交流ホール
10/11	男前カフェ	せとうち玄関前
10/20	せとうち交流会	新館地域交流ホール
10/25	今城幼稚園芋掘り	せとうち畑
10/27	ちとせ保育園芋掘り	せとうち畑
10/29	デザートバイキング	新館地域交流ホール
10/31	横丁縁日（本2・新2フロア合同）	2階渡り廊下
11/9	臨床美術	新館地域交流ホール
11/13	日本舞踊（ことみ会）	新館地域交流ホール
11/18	お茶会（西大寺高校）	本館地域交流ホール
11/19	福田地区文化祭	福田地区コミュニティセンター
11/27	食事の日（S-1グランプリ）	本館地域交流ホール
12/11	今城幼稚園交流会	新館地域交流ホール
12/13・15	忘年会バイキング	新館地域交流ホール
12/24	クリスマス会	各フロア
12/28	もちつき大会	本館1階中庭 本館地域交流ホール
1月上旬	初詣外出（西大寺観音院）	各フロア
1/12	とんど焼き	本館地域交流ホール外
1/22	特養デイ（ゼリーバイキング、読み聞かせ、歌）	新館地域交流ホール
1/26	特養デイ（白玉ぜんざい、習字教室）	新館地域交流ホール
2/3	豆まき	各フロア
2/26	食事の日（ほかほか弁当）	各フロア
3/4	デザートバイキング	新館地域交流ホール
3/16	せとうち交流会	新館地域交流ホール

#### 【その他】

- ・活き活きクラブ 毎月1回開催

毎月1回、クラブ活動を通して、各部署間の交流を深めていくことを目的として、季節に合わせたイベントや外出を企画、実施している

（今年度の実施内容）

赤穂海浜公園外出、いちご狩り、ヤクルト工場見学、長船ドライブイン外出、あじさいのおか牛窓夏祭り参加、手焼きせんべい体験、お菓子づくり（大福、

チョコレート、クッキー)、お好み焼き・おにぎり作り、たくあん漬け作り

・定期ボランティア

移動図書館…第3金曜日

むすひカフェ…月1回木曜日

・藤花祭(夏まつり)

うらじゃ(開成鬼童)、和太鼓(とっかあず)のボランティア団体が参加

(2) ボランティア

① 4月に福中地区の花見イベントに参加。

② 5月に福中地区、福山地区の用水清掃に参加。

③ 2017 夏のボランティア体験事業の受入。(H29.8月)

中学1、2年生の男子2名、女子5名(邑久中・長船中)が参加

④ 藤花祭(夏祭り)に学生10名(岡山医療福祉専門学校8名、吉備国際大学1名、関西福祉大学1名)、一般4名が参加。

(3) 実習

① 介護福祉士実務者研修

NPO法人ウェル福祉学習センターより2名(12/6~8)

② 職場体験学習(H29.10.18~10.20)

邑久中学校より女子生徒2名受入

③ 教育職員免許法の特例にもとづく「介護等体験」

H29.9.4~8 1名受入

(4) その他

パンの訪問販売…毎週金(メルヘン)、月2回(すだちの家)

移動スーパー…毎週木(とくし丸)

#### 4. 会議・委員会等の運営

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行い、入居者の生活援助の向上と充実を図るため各職種の代表者により委員会を運営した。

会議・委員会名	実施内容
全体会議	奇数月第4火曜日に全職員参加で開催。各部署からの連絡事項の伝達、研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会を実施している。

全体研修	偶数月第4火曜日に全職員参加で開催。研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会を実施している。
部署間会議	施設長、副施設長、各リーダー、小規模管理者、居宅管理者、看護、ケアマネ、相談員、事務が出席し、各事業所の運営状況、問題の把握と改善等について話し合う
フロア会議	フロアごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う
食事・レク委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内のレクリエーションやクラブ活動の検討、運営</li> <li>・入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各ユニット・厨房との話し合いを行っている</li> </ul>
事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故原因と対応策の検討。苦情・要望等の内容と対応経過についての報告、再発防止策を検討し、実施している。</li> </ul>
感染症及び食中毒対策・褥創予防委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として研修を実施した（吐瀉物の処理方法、感染症、食中毒についてなど）。</li> <li>・褥瘡のある方の経過観察・報告を行っている。</li> <li>・インフルエンザ対策として職員・入居者に手洗い・うがいを徹底し、換気を励行。</li> </ul>
身体拘束廃止・虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束「0」、虐待防止のための取り組みを検討・実施。職員の虐待防止への意識を高める目的で、アンケートの実施や研修を行っている。</li> </ul>
認知症ケア委員会	認知症ケアの推進や知識向上を目的として、職員への研修や利用者への音楽療法の取り組みを実施。
夏祭り実行委員会	夏祭りの企画・運営
入居判定委員会	入居候補の方を面接後、施設の受入を検討する

## 5. 防災計画

### (1) 避難訓練

H29.7.27 日中本館1階からの出火を想定し、火災発見、通報、初期消火、避難場所（廊下）への避難誘導、消防本部の設置などの訓練を実施した。入居者の方にもご協力いただき、実際に誘導訓練も実施。



H30.3.29 夜間新館 2 階からの出火を想定し、火災発見、初期消火、非常放送、避難場所（廊下）への避難誘導、消防本部の設置、消火訓練などの訓練を実施した。  
入居者の方にもご協力いただき、実際に誘導訓練も実施。

## 6. 研修

### (1) 職員研修

※詳細は 11～12 ページ参照

### (2) プリセプター制度

毎月 1 時間程度、新人職員が課題について先輩職員と話し合い、不安なことがないか、どうしたら上手くできるのかを一緒に考え、成長を促している。また、職員教育の一環として、新人職員が中心となり企画・運営をする「特養デイ」の取り組みを、今年度より新たに実施した。

## 7. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうち特養から 4 グループ、せとうち小規模から 1 グループ、せとうちの郷から 2 グループを作り、テーマを決めて平成 29 年 6 月 1 日～12 月 31 日にかけて研究を行い、1/30 の全体会議にて発表を行った。そこでの投票で上位に選ばれた 2 チームが 3 月に神戸で行われた「第 17 回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」に参加し、実践発表を行った。

今年度のテーマ

- ・「～また利用していただけるショートステイを目指して～」 本館 2 階・新館 2 階
- ・「タッチケアでの取り組み～心の交流～」 本館 3 階
- ・「認知症ケア～穏やかでその人らしい毎日を～」 新館 3 階
- ・「せとうち別宅計画」 本館 1 階

# 平成 29 年度 事業報告

特別養護老人ホーム   せとうちの郷  
小規模多機能ホーム   せとうちの郷

# 平成 29 年度年間事業報告（せとうちの郷）

## 1. 入居者の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

### (1) 長期入居

#### ③ 入居者数

区 分		男	女	合計	年齢	
現入居者数		9 人	20 人	29 人	最高齢	96 歳
年間	入所	4 人	5 人	9 人	最年少	69 歳
	退所	1 人	7 人	8 人	平均	86 歳

#### ④ 入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	0	0
60～69 歳	0	1	1
70～79 歳	3	1	4
80～89 歳	4	5	9
90～99 歳	2	13	15
100 歳～	0	0	0
計	9	20	29

#### ③入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	1	1	2
要介護 3	1	5	6
要介護 4	3	3	6
要介護 5	4	11	15
計	9	20	29
平均介護度	4.2		

### (2) 短期入居

#### ① 利用状況 \*平成 29 年 4 月～3 月末までの総数

男	25	最高齢	101 歳	実施日数	365 日
女	26	最年少	67 歳	利用延人数	3,532 人
計	51	平均	85.4 歳	一日当たり利用者数	9.67 人

#### ③ 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	0	0
60～69 歳	1	1	2
70～79 歳	7	3	10
80～89 歳	13	8	21
90～99 歳	4	12	16
100 歳～	0	2	2
計	25	26	51

### (3) 小規模多機能ホーム

#### ① 利用状況 \*平成 29 年 4 月～3 月末までの総数

男	14	最高齢	98 歳	利用延人数 (泊まり)	1,275 人
女	19	最年少	71 歳	利用延人数 (通い)	3,532 人
計	33	平均	86.6 歳	利用延人数 (訪問)	2,955 人

#### ④ 利用者の年齢構成 (人)

年齢区分	男	女	計
40～59 歳	0	0	0
60～69 歳	0	0	0
70～79 歳	3	2	5
80～89 歳	4	12	16
90～99 歳	7	5	12
100 歳～	0	0	0
計	14	19	33

## 2. 援助実施の状況

### (2) 生活援助

#### ① 食事の提供と援助

個別にご入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供できるよう努めた。季節感のある食事を提供する為、毎月 1 日は赤飯の日とし、月 2 回はお寿司の日を設け、今年度は 2 ヶ月に 1 回選択メニューを行った。その他にも季節毎でさと食堂 (昼食バイキング形式の食事) を設け、デザートバイキングや季節行事のメニュー、各フロアでの食事やおやつ作り、レストランなどへの外食を取り入れている。低栄養状態の改善に努めることで生活意欲の向上を図り、また栄養士、看護師を中心として体重の減少や極端な増加を予防することで健康の維持に努めた。誤嚥防止や一人ひとりのペースに合った食事の摂り方に取り組んできた。

#### ② 入浴援助

ご入居者の身体状況に合わせ、個人浴槽か機械浴層の中からより安全な入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付き添いながら、最低週 2 回入浴を実施した。体調の悪い時は、清拭や陰部洗浄、足浴などで清潔保持に努めた。また、皮膚疾患があり清潔保持が必要なご入居者には適宜入浴やシャワー浴を追加した。

#### ③ 排泄援助

個々のご入居者の排泄リズムを把握し、トイレでの排尿・排便を可能な限り行った。介助の際には、羞恥心・プライバシーに配慮し、一人ひとりに見合ったオムツの使用及び交換に努め、不快感や不衛生の軽減に努めた。オシメ、パット等の見直しも行った。

#### ④ 外出援助

行事や誕生日外出の他にも、外食、買い物、ドライブ、美容院などにより個別外出の機会を増やすよう努めた。ご自宅でご家族との時間を過ごしていただけるよう、ご家族の協力の下、外出支援にも力を入れた。安全に配慮し、事故なく外出できた。

### (4) 健康管理

ご入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化、又は異常が認められた場合には、嘱託医の診察や状況報告を行い適切な対応を行った。

#### ① 入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理及び往診、通院の調整を図った。また、秋にはインフルエンザの予防接種を実施した。

#### ② 嘱託医師による定期的な診察

週2回（水・金）に藤田病院山田先生の往診、随時中里歯科医院の往診を行った。

#### ③ 健康診断（藤田病院）

#### ④ 協力病院との提携（入居者の通院及び入院）

#### ⑤ 感染予防対策

環境衛生及び消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、居室、フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。

#### ⑥ 職員の衛生管理

職員個々人の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者以外の職員については年1回、夜勤者に対しては年2回の健康診断と腰痛検査を実施した。

#### ⑦ 日常生活動作の維持

レクリエーションや生活の中で体を動かしていただく機会を作り、機能の維持に努めた。

### (5) 機能訓練

拘縮の強いご入居者には可動域訓練の頻度を増やし、またポジショニングの資料を作成し拘縮の進行予防に努めた。個別訓練の中で認知機能面へのサポートができるようにコミュニケーションや脳トレなどを行った。

### (6) 感染症対策

ご入居者、ご利用者及び職員ともに手洗い、うがい、消毒を徹底し、室内の換気を励行して集団生活下での感染症予防に努めたが、インフルエンザ感染があり（ご入所者0名、ショートステイ及び小規模多機能ホームのご利用者各1名、職員2名）、ノロウイルス感染はなかった。外部からの感染予防のため、施設に出入りする業者関係者にも手洗いうがいの励行、マスク着用をお願いした。

### (7) 生活環境の整備

ご入居者が居心地よく過ごせるように居室や各フロア的环境整備や雰囲気作りを行った。共同生活室には季節ごとの飾りつけを行い、また四季折々の花を生けて家庭的で明るい雰囲気作りを努めた。

## 3. 行事・ボランティア等について

### (1) 行事

実施日	行事内容	場所
5/26	健康教室「おたっしゅさん」	地域交流スペース
6/13	エンゼル劇団	地域交流スペース
6/28	運動会	地域交流スペース
7/31	夕涼み会	足湯
9/16	敬老会	地域交流スペース
10/10	人形劇	地域交流スペース
10/28	秋祭り	地域交流スペース
12/5	トーンチャイムコンサート	地域交流スペース
12/7	健康教室「おたっしゅさん」	地域交流スペース
12/19	バイキング	各階フロア
12/24	クリスマス会	各階フロア
12/26	餅つき大会（めぐみ保育園合同）	地域交流スペース
1/15	とんど焼き	地域交流スペース前畑
1/23	西大寺カフェ	地域交流スペース
1/27	お茶会（西大寺高校茶道部）	地域交流スペース
2/16	西大寺カフェ	地域交流スペース
2/3	恵方巻き作り・豆まき	各階フロア
3/16	西大寺カフェ	地域交流スペース

#### 【定期的な行事】

- ・パン販売（月・木曜日）

- ・ヤクルト販売（火曜日）
- ・移動販売とくし丸（水曜日）
- ・足湯の日（金曜日）
- ・理美容（第1月曜日）
- ・おやつバイキング（第1水曜日）
- ・音楽療法（第2木曜日）
- ・さと食堂（4月・7月・11月・3月）

(5) ボランティア

- ・舞踊ボランティア
- ・西大寺高校茶道部ボランティア
- ・環太平洋大学ボランティア
- ・岡山学芸館高校ボランティア
- ・豊小学校踊りの会ボランティア
- ・糸あやつり人形劇団ボランティア
- ・学習教室ボランティア（環太平洋大学学生・公民館ボランティア）
- ・華道ボランティア
- ・習字ボランティア
- ・エンゼル劇団ボランティア
- ・オカリナ演奏ボランティア
- ・その他個人ボランティア

(6) 夏のボランティア体験事業

- ・創志学園高等学校 2名
- ・西大寺高等学校 1名
- ・西大寺中学校 2名
- ・岡山学芸館高等学校 2名

(7) 介護体験事業

- ・今年度は対象者なし

#### 4. 会議・委員会等の運営及び職員研修

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行い、入居者の生

活援助の向上と充実を図るため各職種の代表者により委員会を運営した。職員研修では、経験や職種に応じた外部研修に参加するとともに、施設内でも定期的に研修を行うことで専門的な知識や技術の向上に努めた。

会議・委員会名	実施内容
全体会議	奇数月第4月曜日に全職員参加で開催し、各委員会からの報告、勉強会（嘔吐物の処理方法、認知症ケア、車両事故防止）などを行う。
部署間会議	各部署の責任者が出席し、特養・ショートステイ・小規模の現況報告、施設の経営状況や今後の課題等の検討を行う。
フロア会議	フロアごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う。
食事・レク 委員会	施設全体のレクリエーション行事の運営を行っている。入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各部署と厨房との話し合いを行っている。
事故防止委員会	事故原因と対応策を検討するとともに、災害時の避難訓練や車両事故の防止、啓発活動に努めている。
身体拘束廃止・ 虐待防止委員会	身体拘束「0」を目指しての取り組みを検討・実施している。外部の参加し他施設での虐待事例などを職員へ周知している。
感染症防止・ 褥瘡予防委員会	感染症対策として吐瀉物の処理方法、感染症、食中毒についての勉強会を実施した。インフルエンザ対策として職員・入居者に手洗い・うがいを徹底し、換気を励行。褥瘡のある方の経過観察・報告を行っている。
行事委員会	施設全体行事の運動会、敬老会、秋祭りの企画運営を行う。
研修員会	偶数月第4月曜日に研修を開催し、職員の資質向上に努めている。
入居判定委員会	入居候補の方を面接後、岡山県の入所指針に基づき施設での受入を検討する。
全体研修	偶数月第4月曜日に全職員を対象に開催し、外部講師による専門的な知識や技術の向上や外部研修に参加した職員による伝達研修などを行っている。（詳細は9～11ページ参照）

## 5. 防災計画

### (1) 避難・消火訓練など



- 5/8 2階で夜間を想定した避難・消火訓練を行い、火災通報装置やスプリンクラーの停止方法などの確認を行う。
- 7/10 駐車場にて消火器の使用法の説明・演習を実施する。
- 7/11 駐車場にて消火器の使用法の説明・演習を実施する。
- 11/8 3階で日中を想定した避難・消火訓練を行い、火災通報装置やスプリンクラーの停止方法などの確認を行う。
- 11/27 地震時の避難訓練として、避難誘導、避難経路の確保などについて訓練を実施する。

## (2) 防犯安全対策

事務所受付で来客者の確認を行うとともに、3ヵ月毎に電気錠の暗証番号を変更するなどして安全の確保に努めた。また、事務所職員が退勤後は、面会時間終了の20時まで宿直職員が事務所に待機をしている。

## 6. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうちの郷からは2グループ（1グループ10名まで）を作り、テーマを決めて平成29年6月1日～11月30日にかけて研究を行い、1/30の全体研修にて発表を行った。そこでの投票で上位に選ばれた2チームが3月に神戸で行われた「第17回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」に参加し、実践発表を行った。

平成29年度のテーマ

- ・「ただの居場所から居心地のいい場所へ」 3階
- ・First Step!! 「また来たい」と思えるショートステイに！ 2階